

会議の名称	令和5年度第1回本庄市自殺対策ネットワーク会議
開催日時	令和5年6月7日(水) 午前・ 午後 1時30分から 午前・ 午後 2時25分まで
開催場所	本庄市保健センター2階研修室
出席者	山下部会長、金井副会長、五十嵐委員、大屋委員、織茂委員、今泉委員、高月委員、山本委員(代理 三浦氏)、上原委員、青柳委員、早野委員、山田委員、落合委員、笠原委員 事務局：武正健康推進課長、丸山課長補佐、栗田主査 コンサル：(株)グリーンエコ東京事務所 児玉
欠席者	笹本委員、富沢委員、荒井委員、田島委員
議題 (次第)	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議題 (1) 新たな「自殺総合対策大綱」について (2) 本庄市自殺対策計画調査について (3) 市民意識調査について こころの健康に関するアンケート調査 (4) 中学生意識調査について こころの健康に関するアンケート調査 5 その他 6 閉 会
配付資料	【送付資料】 ・令和5年度第1回本庄市ネットワーク会議次第 別紙1：本庄市自殺対策ネットワーク会議設置要綱 別紙1-1：本庄市自殺対策ネットワーク会議の組織について 別紙2：本庄市自殺対策ネットワーク会議委員名簿 別紙3：策定スケジュール 資料1：新たな「自殺総合対策大綱」について 資料2：本庄市自殺対策計画調査について 資料3：市民意識調査について 資料3-1：こころの健康に関するアンケート調査(18歳以上) 資料4：中学生意識調査について 資料4-1：こころの健康に関するアンケート調査(中学生) 【当日配布(新規委員)】 ・本庄市自殺対策計画
その他特記事項	
主管課	本庄市保健部健康推進課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
1. 開会	
事務局（武正健康推進課長）	<p>ただ今より、令和5年度第1回本庄市自殺対策ネットワーク会議を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます、保健部健康推進課長の武正と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは会議次第に沿いまして、会議を進めさせていただきたいと思ひます。次第の2番になりますが、今回異動等により新たに6人の方が委員となりますので、委嘱状の交付をさせていただきます。本来ならば市長から交付をさせていただくところですが、公務のため出席できませんので代わりに山下部副市長よりお渡しさせていただきます。こちらでお名前をお呼びいたしますのでその場でお立ちいただきまして、委嘱状をお受けいただけたらと存じます。それでは、名簿の順にお呼びいたします。</p>
2. 委嘱状・任命書の交付	
山下部副市長より今泉委員、高月委員、山本委員、落合委員、笠原委員に委嘱状を交付	
事務局（武正健康推進課長）	それでは本会議の会長であります山下部副市長より、ごあいさつをよろしくお願ひいたします。
3. あいさつ	
副市長	<p>改めましてこんにちは。皆さま方には本当にお忙しい中、またお暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。また平素、本庄市市政全般にわたりまして、皆さま方にはご尽力いただていることをこの場をお借りして感謝申し上げたいと思ひます。欠席の方もいらっしゃると思いますが、新たに6人の方に委嘱状等を交付させていただいたところでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。この後、事務局から説明があるかと思ひますが、全国における自殺者数の年次推移等々につきましては減少傾向の状況にはなっていますが、いまだ2万人を超える方々が自殺で亡くなっているという状況もございます。</p> <p>そのような中で、国を挙げて自殺対策を総合的に推進しているという状況でございます。本市におきましても、平成31年3月に本庄市の自殺対策計画を策定しております。この計画をもとに、誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指してさまざまな施策に全庁的に取り組んでいるところでございます。現計画が今年度をもって5年を迎え、最終年度となることから、次期の自殺対策の策定につきまして皆さま方にもいろいろな角度からご意見等頂戴できればと思ひます。本日は議題の中にもございますとおり、市民の意識調査、それから中学生の意識調査についてもご意見を賜りたいと存じ</p>

	<p>ます。市役所内部の職員による庁内検討委員会を開催しまして、その中で検討した内容を皆さんにもご覧になっていただき、忌憚のない意見交換ができればと考えております。限られた時間の中ではございますが、どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
事務局（武正健康推進課長）	<p>ありがとうございました。続きまして、本日は今年度の第1回の会議になりますので、委員の皆さまから自己紹介をいただきたいと存じます。</p> <p>それでは配布いたしました別紙2の委員名簿に従いまして、山下部会長より順に自己紹介をよろしくお願いいいたします。</p> <p>（委員自己紹介）</p>
事務局（武正健康推進課長）	<p>ありがとうございます。次に、事務局から、順に自己紹介をさせていただきます。</p> <p>（事務局自己紹介）</p> <p>最後になりますが、この計画を策定するにあたり、助言等頂くために、コンサルタント会社をお願いしております。</p> <p>本日は、株式会社グリーンエコ様が、会議に同席しておりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
コンサル（児玉）	<p>ご紹介いただきました株式会社グリーンエコ 児玉と申します。</p> <p>この度の本庄市の自殺対策計画策定につきまして、ご支援させていただきます。よろしくお願いいいたします</p>
事務局（武正健康推進課長）	<p>ありがとうございました。本庄市児玉郡医師会の富沢先生、児玉商工会女性部長の田島委員、公募委員の荒井委員は本日欠席となっております。またPTA連合会副会長の笹本様については確認中でございます。よろしくお願いいいたします。ではここから着座で失礼いたします。</p> <p>（配布資料の確認）</p> <p>また今回新しく委員となっただいた方には、「本庄市自殺対策計画」を配布させていただいております。</p> <p>続きまして会議の議長につきましては、設置要綱第6条第1項の規定により会長が議長となっで行うこととなっておりますので、今後の進行につきましては山下部会長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
4. 議題	

議長（山下部会長）	<p>それでは会長が議長ということでございますので、これより次第に沿いまして進行をさせていただきたいと思っております。会議のスムーズな運営にご協力をお願いいたします。</p> <p>早速議題に入らせていただきます。次第4、議題（1）新たな「自殺総合対策大綱」について、まず事務局からご説明をお願いできればと思っております。よろしく申し上げます。</p>
事務局（丸山課長補佐）	<p>次第4（1）新たな「自殺総合対策大綱」について （資料1に基づき説明）</p>
議長（山下部会長）	<p>ありがとうございました。ただ今事務局から説明がありました、国の自殺総合対策大綱について、何か確認したいこと、あるいはご意見等ございますか。</p>
一同	（なし）
議長（山下部会長）	<p>よろしいですか。それではないようですので、続きまして、議題（2）本庄市自殺対策計画調査について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（丸山課長補佐）	<p>議題（2）本庄市自殺対策計画調査について （資料2に基づき説明）</p>
議長（山下部会長）	<p>ありがとうございました。自殺に対する基本的な視点、特に本庄市の自殺に関する状況を、グラフやデータ等を用いて説明がありました。皆さま方から確認事項やご意見等ございましたらご発言願えればと思っております。いかがでしょうか。</p>
一同	（なし）
議長（山下部会長）	<p>よろしいでしょうか。それではご意見等ないようでございますので、計画の趣旨についてご了承いただければと思っております。</p> <p>続きまして、議題（3）市民意識調査、18歳以上の市民を対象にしたこころの健康に関するアンケート調査につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（丸山課長補佐）	<p>議題（3）市民意識調査について （資料3及び資料3-1に基づき説明）</p>
議長（山下部会長）	<p>ありがとうございました。ただ今事務局から説明がありましたが、まず6ページ、「IV 相談を受けることについてお尋ねします」の大項目までの内容について皆さま方からご意見やご質問等をお願いいたします。</p>
大屋委員	<p>細かいところですが、問15の設問が「一つに○」という表記になっています。他の設問は「○は一つ」という表記になっています。</p> <p>また、6ページの問17、①から⑤までの項目について、①だけが少し特殊だと感じます。「①相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ」に対する回答項目の「よくする」「しない」は、どれを選べばよいか分かりにくいこと、「③自分から声をかけて話を聞く」とどこが違うのか差異がよく分</p>

	かりません。微妙なニュアンスの差があれば教えていただきたいと思いません。以上です。
議長（山下部会長）	問15の「一つに○」という問15の表記の仕方と、問17の①と③の関係性について、特に①の意図についてのご質問です。事務局から説明があればお願いしたいと思います。
事務局（丸山課長補佐）	問15の「一つに○」は、他の設問と同じように「○は一つ」に修正します。問17の「①相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ」と、「③自分から声を掛けて話を聞く」についてですが、①につきましては、相手のことを心配に思っているけれども声掛けは特にしないで相手が言ってくるのを待つということです。③は自分から声を掛けて話を聞くということで、相手に対して自分から声を掛けて話を聞くという意味合いで作っております。
議長（山下部会長）	これは本庄市独自の表現でしょうか。
大屋委員	問17の①は積極的な姿勢のほうが「1」になります。何もしないで待たないで積極的にやる場合は①の回答は「1」ということですね。他の項目(②～⑤)は積極的にすることは「4」が回答になるので、そこだけ異質だと感じました。 また、同じような質問内容ともとれるということが少し気になりました。
事務局（武正健康推進課長）	先ほどの問17につきまして、確かに①と③、表現的なところが違うだけで同じような意味合いだと見受けられるところもございます。もともとこちらは5年前と同じアンケートの部分で変えていません。前回のアンケート項目につきましては、国から示されたアンケートの形式になっております。 問17につきましては、確認させていただきまして、国の方式ということであれば、このままの表現にさせていただき、もしも国の方式でなかった場合は表現を見直させていただきたいと思っております。
議長（山下部会長）	問17につきましては、事務局で調べ、修正する場合は、また皆さま方にご報告をさせていただきます。事務局で預からせていただくということでもよろしいでしょうか。 (→問17の設問は、国の方式であることが確認できましたので、このままの表現とさせていただきます)
一同	(異議なし)
議長（山下部会長）	では、7ページ以降について、もしご意見ご質問等あればお願いいたします。
山田委員	このアンケートは無記名で回答する形になっているかと思っております。郵送で回答する方とネットで回答する方が重複しないかどうかということについて、どのような整理をするのかお聞かせいただければと思います。
議長（山下部会長）	ネットと郵送での重複の関係ですね。

事務局（丸山課長補佐）	本市の計画策定時のアンケートで、WEB 回答と郵送での回答の両方を採用した部署に確認したところ、10 人以内の重複があったことが確認できました。今回のアンケートでは傾向を見たいと考えておりますので、10 名程度の重複ということであれば、そのまま数に入れさせていただければと考えております。以上になります。
議長（山下部会長）	そうすると重複ありきで実施してくということでしょうか。例えばアンケートで、番号を入れておいて重複が分かるようにしておくこともできると思いますが、番号を付けることで個人が特定されると、回答者が思ってしまう可能性もあるので、多少の重複の可能性はどうしても出てしまうが、傾向を見るためのものだからということでしょうか。
事務局（武正健康推進課長）	他の市計画で、例えば総合振興計画で WEB 回答を実施した際には、番号を付け、その番号で二次元コードとリンクをさせて、番号で全部集計を取るというかたちをとっていました。ただし、今回の案件が自殺というかなりシビアな内容であることから、番号で管理をすることによって逆に答えづらさというものが生じるのではないかと懸念しまして、あえて番号管理をしない方式で実施したいと考えました。他の計画策定時のアンケートで、あまりにも重複があるようであれば、番号管理も必要かと思いましたが、実際に他の計画策定時のアンケート見てみたところ、10 件弱で大きな差異はないということが確認できましたので、今回番号管理はせずにアンケートを実施するかたちで整理させていただきました。以上です。
議長（山下部会長）	10 件程度の重複が確認できたアンケートは、3000 件程度の調査対象者規模だったのででしょうか。
事務局（武正健康推進課長）	はい。
議長（山下部会長）	今回については、重複があるかないかは分からない状態での回答になってくるとのことです。山田委員、いかがでしょうか。
山田委員	大丈夫です。
議長（山下部会長）	他にはよろしいでしょうか。 1 点確認事項があったと思いますが、事務局で確認はさせていただいて、必要に応じてまた皆さま方にご報告とさせていただくということをお願いしたいと思います。 続きまして、議題（4）中学生意識調査について、事務局から説明お願いいたします。
事務局（丸山課長補佐）	議題（4）中学生意識調査について （資料4 及び資料4-1 に基づき説明）
議長（山下部会長）	ありがとうございました。中学生への意識調査ということですが、皆さま方からご意見やご質問等あればお願いいたします。

笠原委員	対象が中学校2年生ということですが、中学校2年生にした理由を教えてくださいいただけますか。
議長（山下部会長）	中学生意識調査の対象を、本庄市立の4中学校の2年生にした理由をお願いしたいということです。
事務局（丸山課長補佐）	前回策定時の検討委員会で議論していただき、中学生にアンケートをとるといいのではないかとということと、1年生は中学校に入学して間もない状況であること、3年生は受験を控えているということで、中学2年生が一番妥当ではないかということになりました。前回策定時の検討委員会で中学2年生ということを決めております。今回も前回との比較のため、中学2年生を対象にしたいと考えております。以上です。
笠原委員	選定の理由は分かりました。ちなみに中学生で今、いわゆる「中1ギャップ」といわれてるものがあり、小学校から中学校に上がった時はやはり非常に心の悩みを抱える方がすごく多いということもいわれています。中学校1年生ではなく、中学校2年生ということについては、前回議論されたということなので、理由はわかりましたが、今の中学生が中学校に入学した時に「中1ギャップ」で悩んでる方が多いという傾向が見受けられるということは参考にさせていただければと思います。
議長（山下部会長）	ありがとうございます。小学校から中学校に上がった時に、例えば学校の規模が違ったり、友人関係も変わったりすることで、いろいろ心が揺らぐ時期になるというお話をいただきました。中学生の意識調査について、先生から何かございますか。
高月委員	「中1ギャップ」は大変あることなのですが、環境がいろいろ変わり、自分の体の変化も捉えた上で調査をするとすると、中学2年生がいいのではと思います。ただ環境に適応できない子どもたちは、教育相談等で担任に対応していただいています。 生死を考えると、やはり思春期でホルモンのバランスが変わってくるこのくらいの時期でよいと考えます。
議長（山下部会長）	ありがとうございました。アンケートについては2年生でよいのではないかというご意見でした。「中1ギャップ」については、相談対応等を学校でしていただいているということですね。他にございますか。
一同	（なし）
議長（山下部会長）	中学生の意識調査につきましては、お示しした内容で進めさせていただくということでご了承いただけたらと思います。 議事につきまして議題（1）から（4）を進めてまいりました。いくつかご意見等をいただきましたが、議事につきましてはこれもちまして終了とさせていただきたいと思います。進行を、事務局のお返ししたいと思います。よろしく申し上げます。

5. その他	
事務局（武正健康推進課長）	ありがとうございました。それでは次第5、その他につきまして事務局からご連絡がございます。
事務局（丸山）	今後の予定について事務局からご連絡させていただきます。今回皆さまから頂いたご意見と、確認事項につきましては、事務局で検討させていただき、他に頂いたご意見につきましては、計画策定時に参考させていただきたいと思っております。今後の予定ですが、別紙3、策定スケジュールをご覧ください。市民意識調査を7月に実施し、現状分析、施策の検討等を行い計画案の作成となります。皆さまの任期が今年度11月14日までとなっておりますので、公募委員を7月の広報で募集をさせていただきます。9月ごろには現委員の皆さま所属の各団体に、委員の推薦についてご依頼させていただきますのでよろしくお願いいたします。そして次回のネットワーク会議につきましては、11月に予定しております。ご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。また今回の会議録については、作成した後、皆さまに郵送してご確認いただく予定ですのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。
事務局（武正健康推進課長）	先ほどのスケジュールに関して何かご質問ある方はいらっしゃいますか。ないようでしたら、以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。最後に、金井副委員長より閉会のごあいさつをいただきたいと存じます。
6. 閉会	
金井副委員長	それでは委員の皆さまにおかれましては、長時間にわたり、大変ありがとうございました。これで令和5年度第1回本庄市自殺対策ネットワーク会議を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。
一同	ありがとうございました。

(終了)